

木村泰賢 きむら たけけん 佛教學者、文學博士。明治十四年八月十一日岩手縣生れ、昭和五年五月十六日没（一八八一—一九三〇）。舊姓山本、幼名一藏、賢。曹洞宗大學林を経て東京帝國大學文藝科大學卒。大正七年「印度六派哲學」にて帝國學士院恩賜賞受賞。十二年東京帝大教授。全集がある。

著書に『原始佛敎思想論』（大正十一年四月十六日西午出版社）、『佛敎聖典の見方』（佛敎協會編、昭和二年十月十六日敎塵閣書房）、『梵佛傳文學の研究』（平等道研共著、昭和五年十一月一日岩波書店）、『印度思想史』（坂本幸勇編、昭和十六年八月十日大東出版社）『大東名著選』一）等。

